

宿泊約款

【本約款の適用範囲】

第1条 当ホテルの締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、定めていない事項については、法令又は慣習によるものとする。

2 当ホテルは、前項の規定にかかわらずこの約款の趣旨、法令及び慣習に反しない範囲で特約に添うることがあります。

【宿泊契約の申込】

第2条 当ホテルに宿泊契約の申込をしようとする者は、次の事項を当ホテルに申し出て頂きます。

- (1) 宿泊者名
- (2) 宿泊日及び到着予定時刻
- (3) 宿泊料金の支払方法
- (4) その他当ホテルが必要と認める事項

2 宿泊客が宿泊中に前項第2号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルは、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申込があったものとして処理します。

【宿泊契約の成立等】

第3条 宿泊契約は、当ホテルが前条の申込を承諾した時に成立するものとする。但し、当ホテルが承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。

2 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間の基本料金を限度として当ホテルが定める申込金を、当ホテルが規定する日までに、お支払頂きます。

3 申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条および第17条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第12条の規定による料金の支払いの際に返還します。

4 第2項の申込金を同項の規定により当ホテルが指定した日までにお支払い頂けない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとする。ただし、申込金の支払期日を指定するに当たり、当ホテルがその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。

【申込金の支払いを要しないこととする特約】

第4条 前条第2項の規定に関わらず、当ホテルは、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。

2 宿泊契約の申込を承諾するにあたり、当ホテルが前条第2項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払い期間を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

【宿泊契約締結の拒否】

第5条 当ホテルは、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。

- (1) 宿泊の申し込みが、この約款によらないとき。
- (2) 満室(員)により客室の余裕がないとき。
- (3) 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をしておそれがあると認められるとき。
- (4) 宿泊しようとする者が、次のイからハに該当すると認められるとき。
 - (イ) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号に規定する暴力団(以下「暴力団」という。)、同条第2条第6号に規定する暴力団員(以下「暴力団員」という。)、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力
 - (ロ) 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
 - (ハ) 法人でその役員のうち暴力団員に該当する者があるもの
- (5) 宿泊しようとする者が、他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
- (6) 宿泊しようとする者が、伝染病者であると明らかに認められるとき。
- (7) 宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
- (8) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
- (9) 岐阜県旅館業法施行条例第5条の規定する場合に該当するとき。

【宿泊客の契約解除権】

第6条 宿泊客は、当ホテルに申し出て、宿泊契約を解除する事ができます。

2 当ホテルは、宿泊客がその責に帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合(第3条第2項の規定により当ホテルが申込金の支払期間を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます)は、別表第1に掲げるところにより、違約金を申し渡します。ただし、当ホテルが第4条第1項の特約に応じた場合にあっては、その特約に応じるにあたって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払い義務について、当ホテルが宿泊客に告知したときに限ります。

3 当ホテルは、宿泊客が連絡をしないで宿泊当日の午後8時(あらかじめ予定到着時刻が明示されている場合には、その時刻を2時間経過した時刻)になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

【当ホテルの契約解除権】

第7条 当ホテルは、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することがあります。

- (1) 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をしておそれがあると認められるとき、又は同行をしたと認められるとき。
- (2) 宿泊客が次のイからハに該当すると認められるとき。
 - (イ) 暴力団、暴力団員、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力
 - (ロ) 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
 - (ハ) 法人でその役員のうち暴力団員に該当する者があるもの
- (3) 宿泊客が他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
- (4) 宿泊客が伝染病者であると明らかに認められるとき。
- (5) 宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
- (6) 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。
- (7) 岐阜県旅館業法施行条例第5条の規定する場合に該当するとき。
- (8) 寝室での寝たばこ、消防用設備等に対するいたずら、その他当ホテルが定める利用規則の禁止事項(火災予防上必要なものに限る。)に違反しないとき。

2 当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がいまだに提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきます。

【宿泊の登録】

第8条 宿泊者は、宿泊日当日、当ホテルのフロントにおいて、次の事項を当ホテルに登録していただきます。

- (1) 宿泊者の氏名、年齢、性別、住所及び職業。
- (2) 外国人にあつては、国籍、旅券番号、入国地及び入国年月日。
- (3) 出発日及び出発予定時刻。
- (4) その他ホテルが必要と認めた事項。

2 当ホテルは、前項の規定にかかわらずこの約款の趣旨、法令及び慣習に反しない範囲で特約に添うることがあります。

【客室の使用時間】

第9条 宿泊客が当ホテルの客室をおあけいただく時刻(チェックアウトタイム)は、午前10時といたします。

2 当ホテルは、前項の規定にかかわらず、チェックアウトタイムをこえて客室の使用に際する場合があります。この場合においては、次に掲げるとおり追加料金を申し渡します。

- (1) 超過3時間までは室料金の30%
- (2) 超過6時間までは室料金の50%
- (3) 超過6時間以上の場合は室料金の100%

【利用規則の厳守】

第10条 宿泊者は、当ホテル内において当ホテルが定めた当ホテル内に掲示した利用規則に従っていただきます。

【営業時間】

第11条 当ホテルのフロントの営業時間は次のとおりとし、その他の施設等の営業時間は備え付けのパンフレット、各所の掲示、客室内のご利用案内等でご案内いたします。

- (1) 門限 なし
- (2) フロント 7:00 ~ 24:00

2 前項の時間は、必要やむを得ない場合には臨時に変更することがあります。その場合には適当な方法をもってお知らせいたします。

【料金の支払い】

第12条 宿泊料金等の支払いは、国内通貨又は当ホテルが認めたクレジットカード、宿泊券により宿泊客の到着の際、又は、当ホテルが請求した時、フロント又は自動精算機にておこなっていただきます。

2 当ホテルが宿泊客に客室を提供し、客室の使用が可能になったのに、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し渡します。

【当ホテルの責任】

第13条 当ホテルの宿泊に関する責任は、宿泊客が当ホテルのフロントにおいて宿泊の登録を行ったとき、又は客室に入ったときのみならず、早い時に始まり、宿泊客が退室するため客室をあけたときに終わります。

2 当ホテルは、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当り、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当ホテルの責任に帰すべき理由によるものではないときはこの限りではありません。

【寄託物の取り扱い】

第14条 宿泊客がフロントにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じた時は、それが不可抗力である場合を除き、当ホテルは、その損害を賠償いたします。ただし、現金及び貴重品については、その種類及び価額の申告を求めた場合であって、宿泊客がそれをおこなわなかったときは、当ホテルは金10万円を限度としてその賠償をいたします。

2 宿泊客が、当ホテル内にお持ち込みになった物品又は現金並びに貴重品であってフロントにお預けにならなかったものについては、一切責任を負いません。ただし、当ホテルの故意又は過失により滅失、毀損等の損害が生じたときは、当ホテルは、その損害を賠償します。

【宿泊客の手荷物または携帯品の保管】

第15条 宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したときに限って責任をもつて保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際お渡しします。

2 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当ホテルに置き忘れられていた場合において、その所有者が判明したときは、当ホテルは、当該所有者に連絡をするとともにその指示を求めるとします。ただし、その所有者の指示がない場合又は所有者が判明しないときは、発見日を含め7日間保管し、その後最善の警察署に届けます。

3 前2項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当ホテルの責任は、第1項の場合にあっては前条第1項の規定に、前項の場合にあっては同条2項の規定に準じるものとします。

【駐車責任】

第16条 宿泊客が当ホテルの駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当ホテルは場所をお貸しするものであって、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理に当たり、当ホテルの故意又は過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに任じます。

【宿泊客の責任】

第17条 宿泊客の故意又は過失により当ホテルが損害を被ったときは当該宿泊客は当ホテルに対し、その損害を賠償していただきます。

2 客室での喫煙が判明した際は、休業補償として7日間客室料金を請求させていただきます。
※電子タバコをご使用された場合も同じ対応とさせていただきます。

【免責事項】

第18条 当ホテル内からのコンピューター通信のご利用にあたりましては、お客様ご自身の責任にて行うものといたします。コンピューター通信のご利用中にシステム障害その他の理由によりサービスが中断し、その結果利用者がいかなる損害を受けた場合においても、当社は一切の責任を負いません。また、コンピューター通信のご利用に当社が不適切と判断した行為により、当社および第三者に損害が生じた場合、その損害を賠償していただきます。

【管轄及準拠法】

第19条 本約款に関して生じる一切の紛争については、当ホテルの所在地を管轄する裁判所において、日本の法令に従い解決されるものとします。

別表第1
違約金(第6条第2項関係)

		契約解除の通知を受けた日					
		不泊	当日	前日	3日前	9日前	14日前
契約申込室数	1室~9室	100%	50%	30%	-	-	-
	10室~19室	100%	70%	70%	50%	20%	10%
	20室以上	100%	80%	80%	60%	30%	20%

1. %は、基本宿泊料に対する違約金の比率です。
2. 契約日数が短縮した場合は、その短縮日数に関わりなく、1日分(初日)の違約金を収受します。
3. 宿泊日の1週間前迄に宿泊者すべての名簿提出をお願いします。ご提出頂けない場合は、当館にてキャンセル処理をさせていただきます。

TERMS AND CONDITIONS FOR ACCOMMODATION CONTRACTS

Article 1. [Scope of Application]

The terms herein shall govern the Hotel Accommodation Contract and related contracts. Clauses not specified herein shall follow relevant laws and ordinances or customs, as the case may be.

2. Notwithstanding the above Clause, the Hotel may accommodate Special Contracts that do not violate the terms of this Contract and relevant laws, ordinances, and customs.

Article 2. [Submission of a Hotel Accommodation Contract]

A guest who wishes to conclude Hotel Accommodation Contract shall provide the following information:

- (1) name of the guest;
- (2) accommodation dates and scheduled arrival time;
- (3) method of payment of the accommodation charges indicated.
- (4) other information required by the Hotel.

2. If a guest requests an extension of their current stay beyond the date indicated in item (2) above, the Hotel shall consider such a request as a new Hotel Accommodation Contract.

Article 3. [Conclusion of a Hotel Accommodation Contract]

A Hotel Accommodation Contract becomes valid when the Hotel accepts the guest's submitted application containing the information indicated in the above Article 2, unless the Hotel can prove that it had rejected such application.

2. When a Hotel Accommodation Contract is concluded as specified in the above Clause, the guest shall submit, by the deadline specified by the Hotel, no more than the basic accommodation charge for the accommodation period as the advance payment.

3. The advance payment shall be applied to the guest's final total accommodation charges. If a situation arises that falls under the terms of both Article 6 and Article 17, this advance payment shall be appropriated to cover the cancellation fee plus any damages. If any balance remains from the advance payment, the Hotel shall return the balance when the final accommodation payment is transacted as specified under Article 12.

4. If the Hotel does not receive the advance payment by the specified date according to Clause 2 above, the Hotel Accommodation Contract shall be terminated. However, this applies only if the Hotel has appropriately notified the guest of the deadline for the advance payment.

Article 4. [Special Contracts Not Requiring Advance Payment]

Notwithstanding Clause 2 of Article 3, the Hotel may accommodate Special Contracts not requiring advance payment upon conclusion of the contract.

2. Upon submission of the guest's application for a Hotel Accommodation Contract, the contract shall be deemed a Special Contract as defined in the preceding clause if the Hotel does not request advance payment as indicated in Clause 2 of Article 3 or does not designate a deadline for the advance payment.

Article 5. [Refusal of the Conclusion of the Accommodation Contract]

The following are cases where our Hotel will not accept the conclusion of the Accommodation Contract.

- (1) When application for accommodation is not based on this Contract.
 - (2) When there is no room available due to full occupancy.
 - (3) When the Guest seeking accommodation is considered likely to behave in violation of the provisions of the ordinance, public order or good public morals.
 - (4) When the Guest seeking accommodation is considered to be corresponding to the following (a) to (c).
 - a) The law in respect to prevention, etc. against illegal actions by gang members (1991 Law Item 77) stipulated article 2 item 2 (hereinafter referred to as "gang group"), gang member stipulated by the same law article 2 item 6 (hereinafter referred to as "gang member."), gang group semi-regular members or gang member related persons and other antisocial forces.
 - b) When gang group or gang members are associates of corporations or other bodies to control business activities.
 - c) When a corporate body has related persons to gang members.
 - (5) When the guest seeking accommodation behaves extremely in a mischievous way against other hotel guests.
 - (6) When the Guest seeking accommodation is clearly considered to be a patient with an infectious disease.
 - (7) When the guest seeking accommodation, a violent requesting act is carried out, or demanded a burden beyond the reasonable purview.
 - (8) When act of God, trouble with facilities, and other unavoidable causes prevent the Guest from staying at our Hotel.
 - (9) When the provision of Article of GIFU the Ordinance (No. 5) issued by Prefecture is applicable.
2. The guest does not follow the Hotel's posted usage regulations.

Article 6. [Right of the Guest to Withdraw from the Hotel Accommodation Contract]

The guest may cancel the accommodation contract by notifying the Hotel.

2. If the guest cancels all or part of the accommodation contract for reasons attributable to the guest, the Hotel is entitled to request the relevant cancellation fee (except for cases in which the Hotel has specified a deadline for advance payment according to Clause 2 of Article 3, but the guest has cancelled the Hotel Accommodation

Contract before making such payment). Moreover, a cancellation fee shall apply in cases where the Hotel has engaged in a Special Contract according to Clause 1 of Article 4 and has notified the guest of the obligation to pay such a cancellation fee at the time of acceptance of the Special Contract.

3. Unless the guest has given notice of delay, the Hotel may cancel the Hotel Accommodation Contract when it deems the guest has cancelled in the case of a no-show by 10:00 p.m. (or by two hours beyond the scheduled arrival time) on the agreed day of arrival.

Article 7. [The Right of Our Hotel to Cancel the Contract]

The following are cases where our Hotel may cancel the Accommodation Contract:

- (1) When the Guest is considered likely to behave in violation of the provisions of the ordinance, public order or good public morals, or he/she is considered to have behaved in such a manner.
- (2) When the Guest is clearly considered to be corresponding to the following (a) to (c).
 - a) Gang group, gang group semi-regular members or gang member related persons and other antisocial forces.
 - b) When a corporate body or other organization where gang groups or gang members control business activities.
 - c) In a corporate body which has persons relevant to gang member in its board member.
- (3) When the Guest in accommodation behaves extremely in a mischievous way against other hotel guests.
- (4) When the Guest is clearly considered to be a patient with an infectious disease.
- (5) When having accommodation, a violent action is carried out, or demanded a burden beyond reasonable purview.
- (6) When unavoidable causes, such as act of God, etc., prevent the Guest from staying at our Hotel.
- (7) When the provision of Article of GIFU the Ordinance (No. 5) issued by Prefecture is applicable.
- (8) When the Guest smokes in bed or vandalizes fire protection facilities, or does not comply with the matters prohibited by our Hotel (limited only to those matters necessary for fire prevention) among the rules of use prescribed by our Hotel.

2. In cases where our Hotel has cancelled the Accommodation Contract in accordance with the provision of the preceding Paragraph, charges for accommodation service, etc. which have not yet been offered to the Guest shall not be receivable.

Article 8. [Registering for Accommodation]

The guest shall register by providing the following information at the front desk of the Hotel upon his or her arrival:

- (1) name, age, gender, address, and occupation of the guest;
- (2) for foreign nationals: nationality, passport number, and port of entry and date of entry into Japan;
- (3) scheduled departure date and time.
- (4) other information as deemed necessary by the Hotel.

2. If the guest wishes to pay the accommodation charges with lodging coupons or other substitute for domestic currency as indicated in Article 12 the guest shall submit the substitute payment for approval during registration at the front desk.

Article 9. [Start and End of Accommodation Period]

The guest is required to vacate the room by the checkout time of 10:00 a.m.

2. The Hotel may allow use of the room beyond the stated checkout time. In this case, the following additional charges shall apply.

- (1) Up to three hours past the checkout time: 30% of the daily room rate
- (2) Up to six hours past the checkout time: 50% of the daily room rate
- (3) Beyond six hours past the checkout time: 100% of the daily room rate

Article 10. [Observance of Hotel Regulations]

The guest shall adhere to the hotel regulations posted in the Hotel.

Article 11. [Business Hours]

The standard hours for the hotel front desk are indicated below. Hours for other facilities are indicated in the hotel pamphlet and are posted in various locations in the Hotel and in the guest rooms.

- (1) closing hours: N/A
- (2) Front desk: 7:00~24:00

2. The Hotel reserves the right to temporarily change the hours indicated in the preceding Clause should an unavoidable situation arise. In such a case, the Hotel shall make every effort to inform the public in an appropriate manner.

Article 12. [Payment of Charges]

Payment of the accommodation charges shall be made at the front desk or automatic payment machine with domestic currency, or alternatively credit card or accommodation coupons confirmed by the Hotel as acceptable upon check-in or when so requested by the Hotel. 2. The guest shall be responsible for the full accommodation charge even if the guest chooses arbitrarily not to use the room after the Hotel has provided the room and its services to the guest.

Article 13. [Responsibilities of the Hotel]

The Hotel's responsibility to provide accommodations begins when the guest registers at check-in for the accommodations at the hotel front desk, or when the guest enters the reserved room, whichever is earliest, and terminates when the guest vacates the order room upon checkout.

2. If the guest suffers damages through the Hotel's performance or failure to perform the terms of the Hotel Accommodation Contract,

the Hotel shall provide the guest with compensation for damages. However, the Hotel shall not be responsible if the damages are not attributable to the Hotel.

Article 14. [Safekeeping of Deposited Goods]

The Hotel shall be liable for any goods, currency, and valuables the guest places in the custody of the front desk. The Hotel shall compensate the guest for any damage to such items, such as loss or damage, except when such damage is caused by an act of God. However, in cases where the Hotel requests disclosure of the category and value of any such lost or damaged currency and valuables and the guest fails to disclose such information, the Hotel's liability shall be limited to a maximum of ¥ 100,000.

2. The Hotel is in no way responsible for any goods, currency, or valuables that the guest brings into the Hotel and does not place in the safekeeping of the front desk. However, if any such loss and damage is caused by the Hotel's intentional or inadvertent negligence, the Hotel shall be liable for providing compensation for such damage.

Article 15. [Safekeeping of The Guest's Baggage and Personal Effects]

Should the guest's baggage arrive at the Hotel prior to the guest's check-in, the Hotel shall safeguard this baggage and hand it to the guest at the front desk at check-in only if the Hotel has consented to do so before the arrival of the baggage.

2. If the guest should leave his or her baggage or personal effects behind at the Hotel after checking out and the owner of the baggage can be identified, the Hotel shall make an effort to contact the guest and request instructions. However, if its owner does not provide instructions, or the owner of the baggage cannot be identified, the Hotel shall safeguard the baggage for a maximum of seven days (including the day the baggage is found), and shall thereafter files notice with the local police.

3. In the case of Clauses 1 and 2 above, the Hotel's scope of responsibility to safeguard the guests baggage or personal effects shall be limited to that specified in Clause 1, Article 14, and Clause 2, Article 1 4, respectively.

Article 16. [Liability in regard to Parking]

The Hotel shall not be liable for the custody of the vehicle of the Guest when the Guest utilizes the parking lot within the premises of the Hotel, as it shall be regarded that the Hotel simply offers the space for parking, whether the key of the vehicle has been deposited with the Hotel or not. However, the Hotel shall compensate the Guest for the damage caused through intention or negligence on the part of the Hotel in regard to the management of the parking lot.

Article 17. [Responsibilities of the Guest]

The guest is responsible for paying reparations to the Hotel in the event the Hotel suffers damages whether caused by the guest intentionally or through negligence.

2. If smoking is found in the guest room, we will charge 7 days worth of accommodation fee as compensation for leave.

*We will do the same if you use an electronic cigarette.

Article 18. [Exemption Clause]

The guest takes full responsibility for his or her own use of computer transmissions within the Hotel. The Hotel bears no responsibility in the event that the user suffers any damages for any reason including, but not limited to, service failure due system damage or any other reason during computer transmission. Furthermore if the computer transmission usage is deemed as an inappropriate action and the Hotel or a third party suffers damages, the guest will make all reparations.

Article 19. [Exemption Clause]

The court that has jurisdiction over the location of the Hotel shall decide any dispute related to these provisions in accordance with the laws and ordinances of Japan.

Table 1
Cancellation fees (Related to Clause 2 of Article 6)

		Day notified of cancellation					
		No-show	Same-day	Previous day	3 days before	9 days before	14 days before
Number of Rooms	1-9 Rooms	100%	50%	30%	-	-	-
	10-19 Rooms	100%	70%	70%	50%	20%	10%
	20 Rooms or more	100%	80%	80%	60%	30%	20%

1. The listed percentage is the percentage of the basic accommodation fee paid as a cancellation fee.

2. If the number of days is reduced, a charge of one day (the first day) cancellation fee will be applied regardless of the number of days reduced.

3. Please submit the list of all guests until 1 week before of the stay day. If there is no submission, hotel will cancel the application.